RapidMinerでメールの送信

株式会社KSKアナリティクス





はじめに

この資料では、RapidMinerでメールを送信する方法について記載しています。 RapidMiner StudioとAI Hubの両方の方法を説明しているので、RapidMiner でメールを送信したい場合は、ご参考になりましたら幸いです。

資料の終わりには簡単な参考例も載せています。



メール接続の作成

メール接続の作成

まず、メール接続を作成します。 リポジトリのConnectionsを右クリックし、Create Connectionを選択します。 Connection TypeにEmailを選択し、Connection Nameに接続名を入力します。





メール接続の作成

SMTPの詳細の入力

ここでは、例でGmailを使用してメールを送信します。 以下のようにダイアログに入力し、Test connectionで接続をテストします。

勴 Edit connection - gn	nail	×					
Info Setup S	ources						
Sender	%{smtp.user}	1					
SMTP server	smtp.gmail.com	Ð					
SMTP port	465	1					
User name		٢					
Password		٢					
Security	TLS	Ð					
Authentication	Auto	D					
Set injected parameters An injected parameter is a parameter whose value is provided by an external source.							
t est connecti	on V Test successful.	<u>C</u> ancel					

- Sender %{smtp.user}
- SMTP server smtp.gmail.com
- SMTP port 465 (TLSを使用するため)
- User name <Gmail username>
- Password <Gmail password>
- Security TLS
- Authentication Auto

参考: <u>https://support.rapidminer.jp/rapidminer-studio/9.7/connect/email/</u>



メール接続の作成

エラーが出る場合

接続テストが失敗する場合は、エラー内容を確認してください。 Gmailの場合は、RapidMinerが「非Googleアプリ」であるため、認証に失敗 しますが、以下のアクションのいずれかによって解決できます。

- ・ 二段階認証を使用してサインインする場合、<u>App Passwordsを使用して</u>
 <u>サインイン</u>します。
- 二段階認証を使用せずにサインインする場合、安全性の低いアプリへの アクセスを許可します。



参考: <u>https://support.rapidminer.jp/rapidminer-studio/9.7/connect/email/</u>



メール接続の作成

補足:アプリパスワードを使用する場合

二段階認証を使用していて接続テストが失敗する場合は、 アプリパスワードを設定することで解決できます。

Googleアカウントに移動し、セキュリティ > アプリパスワード を選択します。

Google アカウント	Q Goog	gle アカウントの検索						
 ホーム		最近のセキュリティ関連のアクティビティ						
國 人情報								
データとプライバシー		セキュリティ関連のアクティビティを確認						
セキュリティ								
2. 情報共有と連絡先		Googleへのログイン						
■ お支払いと定期購入			• 🖻	- C				
() Google アカウントについて								
		パスワード	前回の変更: 2018/03/07	>				
		2 段階認証プロセス		>				
		アプリ パスワード	2 個のパスワード	>				

参考: <u>https://support.google.com/accounts/answer/185833</u>



メール接続の作成

補足:アプリパスワードを使用する場合

「その他」を選択し、名前を入力して「生成」をクリックします。 黄色の部分に表示されているものを、接続のパスワードに使用します。

← アプリパスワード

アプリ パスワードを使用すると、2 段階認証プロセスに対応していないデバイス上のアプリから Google アカウントにログインできるようになります。このパスワードは一度入力すれば、以降は覚えて おく必要はありません。 詳細

アプリ パスワード			
名前	作成日	最終使用日	
RapidMiner Al Hub	9月9日	12月14日	Î
RapidMiner	9月6日	9月16日	Î
アプリ パスワードを生成 アプリを選択	するアプリとデバイスを選択	してください。	
メール	デバイスを選択	*	
カレンダー			生成
連絡先			
YouTube			
その他(名前を入力)			

← アプリパスワード	
アプリ バスワードを使用すると、2 段階認証5 Google アカウントにログインできるようにな おく必要はありません。 詳細	プロセスに対応していないデバイス上のアプリから ります。このパスワードは一度入力すれば、以降は覚えて
生成されたアプリパスワー	×
	お使いのデバイスのアプリ パスワード
	使い方
Email	設定しようとしているアプリケーションま たはデバイスの Google アカウントの設定画 面を開きます。パフロードを上に表示され
Password	ロを用きなり。パスワードに置き換えま す。
•••••	² のアプリパスワードは、通常のパスワー ドと同様に Google アカウントへの完全なア クセス権が付与されます。このパスワード を覚えておく必要はないので、メモしたり 誰かと共有したりしないでください。
	完了

参考: <u>https://support.google.com/accounts/answer/185833</u>



メール接続の作成

補足:アプリパスワードを使用する場合

接続のPasswordにコピーして、Test Connectionをクリックします。 Test successfulと表示されればOKです。

🧼 Edit connection - gr	nail	×
Info Setup S	ources	
Sender	%{smtp.user}	D
SMTP server	smtp.gmail.com	Ð
SMTP port	465	Ð
User name		D
Password		D
Security	TLS	Ð
Authentication	Auto	Ð
♂ Set injected pa	rameters An injected parameter is a parameter whose value is provided by an external source.	
Test connect	on V Test successful.	<u>2</u> ancel

参考: <u>https://support.google.com/accounts/answer/185833</u>



メール送信のテスト

メール接続を作成できれば、実際にメールを送信できるかテストします。 ここでは、Send Mailオペレータのチュートリアルを用いています。

先ほど作成したメール接続をSend Mailに繋ぎます。
 "to"に送信先のメールアドレスを入力します。





メール送信のテスト

指定したメールアドレスに、以下のメールが届いていればOKです。 届いていない場合は、メールアドレスが有効か、迷惑メールに振り分け られていないか等確認してください。

This E-Mail contains the Golf data set as XSLT and the Iris dataset as CSV.







メール接続のコピー

ここからは、RapidMiner AI Hubでメールを送信する場合についてです。 RapidMiner Studioで作成したメール接続をRapidMiner AI Hubの Connectionsにコピーします。





メール送信のテスト

ブラウザでAI Hubにログインします。 家のアイコンをクリックし、Connectionsに入って接続を選択します。 Test Connectionをクリックし、接続をテストします。

	Repository Browser								
Version: 1. Created on Dec 6, 2021 9:43:56 AM by admin									
	Info	Mail	Sendmail	Smtp	Sources				
	Type:				Mail Sen	d			
	Descri	ption:			No descri	iption			
	Tags:				No tags				
	Test	: Connect	ion 🗸 Test	successfu	ıl				



メール送信のテスト

AI Hubからメールを送れるかテストします。

("Run Process on AI Hub"などでAI Hub上でプロセスを実行してください。) このとき、メール接続がAI Hub上にあるものを指しているか確認してください。 ※Studio上にあるものを指しているままだとエラーが出ます。





メール送信のテスト

指定したメールアドレスに、以下のメールが届いていればOKです。 届いていない場合は、メールアドレスが有効か、迷惑メールに振り分けら れていないか等確認してください。

This E-Mail contains the Golf data set as XSLT and the Iris dataset as CSV.







RapidMinerからメールを送信できるようになれば、 Send Mailオペレータを使用して実際にプロセスを作成してみます。

ここでは、以下の場面を想定しています。

- あるプロセスを定期的に実行している
- 処理が失敗したらメールを送信してほしい



処理の途中で失敗してもプロセスの実行を続けたい場合は、 Handle Exceptionオペレータが便利です。

通常なら実行の途中でエラーが出て止まってしまう場合でも、 別の処理を進めることができます。





メール送信の活用例

活用例 Handle Exception

構造はシンプルで、Handle Exception内部の Try側でエラーが発生した場合、Catch側に処理が進みます。



Try側に実行したい処理を起き、Catch側にSend Mailオペレータを置きます。 (Try側でエラーが発生したときにメールを送信してくれる、という流れです。)



また、送信されるメールにはできる限り失敗の原因を載せておきたいので、 Handle Exceptionのexception macroを設定しておきます。

🖷 🝒 🌄 📑 🗐 🍳 🍳	•	パラメータ × ¥ Handle Exception
		exception macro error
Handle Exception	res res	✓ add details to log



Send Mailオペレータで送信するメールの内容を記載します。 マクロを用いて、プロセスの場所や名前、エラー内容などが表示されるようにします。

プロセス					パラメータ	×			
Process Handle Exception		,e ,e 🗈 肯	🛃 🍓 💣 I	<u>ب</u>	🔀 Send Mail				
Try	Catch			^	to		0		
Retrieve Lake Huron Filter Example Range Windowing	Retrieve gmail	Send Mail			subject	ブロセスが失敗しました	٦		
		att			use html		٢		
🧆 パラメータテキストを編集: body plain				×	body plain	Zedit Text (133 characters)	1		
パラメータテキストを編集: body Body of the email.	plain				filenames	🗾 Edit List (0)	1		
1 <mark>ブロセスが失敗しました。</mark> 2 データやプロセスを確認してください。					headers	🕞 Edit List (0)	٦		
3 4 ブロセスの場所 :									
5 %{process_path} 6 2 ゴロセスター									
7 フロゼス名: 8 %{process_name} 9						● 空度なパーマークを非主子			
10 プロセス開始日時 : 11 %{process_start}					(a)/2/6/12	<u>- 2 Carsene</u>			
12 13 エラー内容 :					ヘルプ	×			
14 %{error} 15					🥁 Send	Mail	^		



メール送信の活用例

活用例 Handle Exception

実際にプロセスを試すと、Try側でエラーが発生した場合は以下のメールが 届きます。

プロセスが失敗しました。 データやプロセスを確認してください。

プロセスの場所:

//_LOCAL/home/admin/material/202112_mail alert/process/send alert

プロセス名:

send alert

プロセス開始日時 : 2021_12_14-PM_06_44_07

エラー内容:

Sum of window size, horizon size and horizon offset is larger the length of the Time Series.

